

気軽に楽しめるニュースポーツ

ペタンク

の遊び方



ご不明な点などがございましたら、お気軽に
下記までお問い合わせ下さいませ。

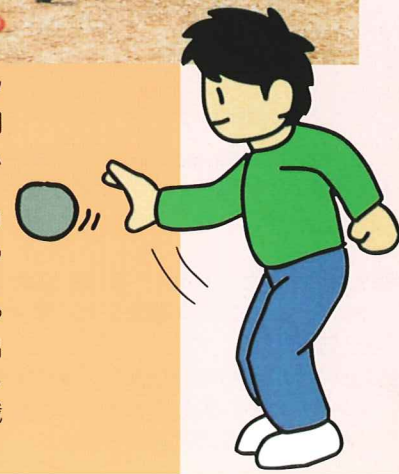


(財)愛媛県スポーツ振興事業団

愛媛県松山市上野町乙46

TEL 089 (963) 3211 FAX 089 (963) 4104

ペタンクは南フランスで生まれたスポーツで、今もフランスの各地で様々な競技会が開催されており、休日には公園や広場でゲームを楽しんでいる人達をよく見かけます。現在、600万人以上の日本の愛好者を始めヨーロッパやアメリカ・カナダ・タイなどでも人気があり、国際的なスポーツになりました。その理由は、特別な施設を必要としないことやルールが簡単なので誰でもすぐにプレイが出来るという事でしょう。一見単純な玉転がしに見える球技ですが、高度なテクニックと戦略を必要とする奥深いスポーツです。



チーム編成

チーム編成には2通りあります。

●ダブルス (2人対2人)

●トリプルス (3人対3人)

持ちボールはダブルスの場合、

1チーム/1人3個×2人の計6個

トリプスの場合、

1チーム/1人2個×3人の計6個

用具

ビュット

木製の標的玉

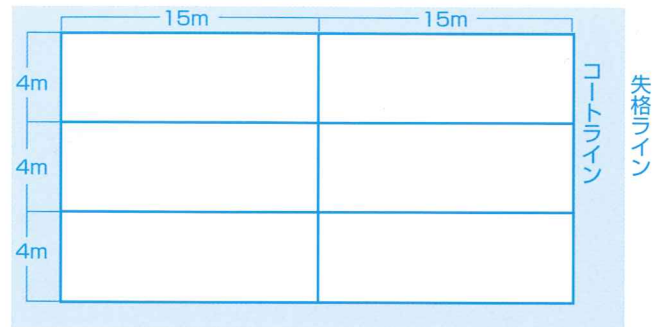


ベタンクボール

金属製の投球玉
(中空/650~800g)



コート



ゲームの進め方

■各チームの代表がジャンケンをし、先攻・後攻を決めます。■下記の1~3の手順でプレイします。これを1セット(メーヌ)とします。

1.ビュットのセット (図1参照)

先攻のチームの1人がスタート地点に直径35cm~50cm位のサークルを描き、その円内に両足を揃えてビュットを6m以上10m以内の距離のエリアに投球します。ビュットが、エリア内に入らない場合は3回目までやり直せますが、それ以上失敗すると相手チームに権利が変わります。



2.投球

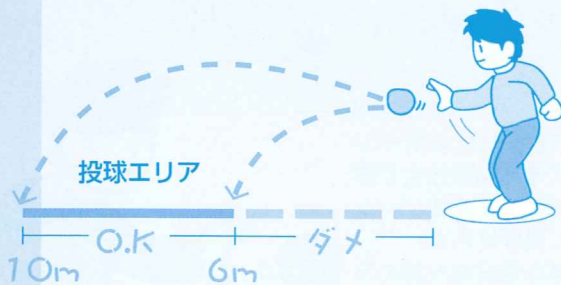
先攻チームが第1投目を行い、続いて後攻チームが投球します。両チームのうち、持ちボールがビュットに近いチームが『ポイントを取る』と言います。ポイントを取っていないチームは、2投目・3投目とポイントが取れるまで投球します。どちらかのチームが持ちボールを全部投げ終わるまで、上記を繰り返します。どちらかのチームが持ちボールを全部投げ終わったときは、もう一方のチームは残りの持ちボールを全て投球して、1セット(メーヌ)を終了します。



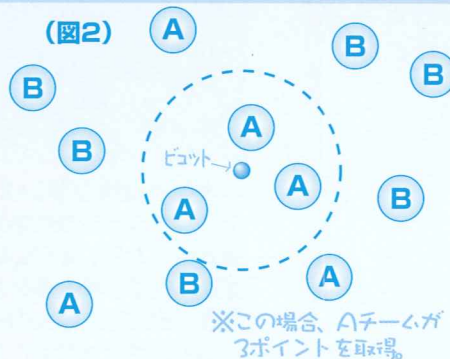
3.得点計算 (図2参照)

ビュットに最も近いボールを所有するチームが、ポイントを取れます。ポイントを取ったチームは、ビュットから最も近くにある相手チームのボールまでの距離を半径とした円を想定し、それよりビュットに近い自チームのボールの数を得点数とします。

(図1)



(図2)

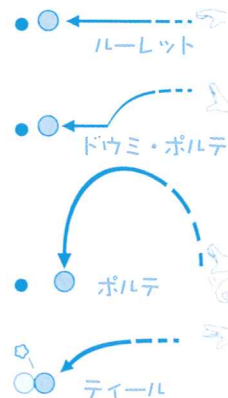


【投球方法】肩より下で投げる、『アンダースロー』とします。

ポワンテ…ボールがビュットの近くに止まるように投げる。

- ルーレット/ボールをゴロで転がす。
- ドゥミ・ポルテ/サークルとビュットの間にボールを落とし、惰力でビュットに近づける。
- ポルテ/ボールを高く放り、ビュットのすぐ手前に落とす。

ティール…他のボールにノーバウンドで当てるように投げる。



■次回からのセット(メーヌ)は、前のセットで『ポイントを取った』チームがビュットのある位置にサークル(周囲に10mの距離がない場合は後退して10mを確保する)を描き、ビュットを投げてゲームを開始します。

■セット(メーヌ)を繰り返し、累計ポイントが先に11点(決勝戦は13点)となったチームを勝ちとします。また、相手チームの持ちボールが無くなり、累計ポイントが11点(決勝戦は13点)になったときは、その時点でゲーム終了となります。